

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 第3次産業活動指数(2011年9月)

発表日2011年11月11日(金)

～家計部門・企業部門揃って低下～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 エコノミスト 星野 卓也
TEL : 03-5221-4526

(単位:%)

		第3次産業活動指数										
		前期比	前年比	電気・ガス・ 熱供給・水道 業	情報通信業	運輸業、郵便 業	卸売業、小 売業	金融業、保険 業	不動産業、物 品質貸業	学術研究、専 門・技術サー ビス業	宿泊業、飲食 サービス業	生活関連 サービス業、 娯楽業
10	1-3月	0.7	0.8	3.1	▲1.2	2.2	0.1	1.0	0.0	▲0.9	1.0	0.0
	4-6月	0.4	1.4	▲0.2	2.7	▲0.2	0.8	0.5	▲0.1	▲1.7	▲0.3	▲0.8
	7-9月	0.6	1.8	1.9	▲0.4	0.5	1.2	▲0.9	▲0.2	1.5	1.7	0.4
	10-12月	0.3	1.6	▲3.0	1.1	0.0	0.8	0.6	▲0.6	▲1.2	0.3	▲1.4
11	1-3月	▲1.4	▲0.1	2.1	▲4.2	▲1.3	▲1.6	0.1	▲0.5	1.5	▲3.7	▲6.8
	4-6月	0.0	▲0.5	▲5.4	2.7	0.3	▲0.1	▲1.6	▲0.3	1.3	▲0.2	0.5
	7-9月	1.1	▲0.1	▲1.1	▲0.8	▲0.1	1.5	2.3	▲0.2	▲0.6	3.9	6.3
10	1月	1.9	0.2	1.8	1.6	2.3	2.2	0.6	0.4	2.6	0.1	0.0
	2月	▲0.4	0.4	1.0	▲0.6	▲0.2	▲0.4	▲1.7	▲0.3	0.2	0.4	▲0.4
	3月	▲1.1	1.9	▲0.3	▲6.9	0.5	▲3.1	2.5	0.0	▲1.8	0.4	0.1
	4月	1.6	1.9	0.8	8.2	▲0.4	3.3	0.3	0.2	▲0.9	0.2	▲0.4
	5月	▲0.3	1.2	▲2.0	0.3	▲0.1	▲0.7	▲0.7	▲0.4	0.2	▲1.2	▲0.4
	6月	0.1	1.0	0.8	▲1.3	▲0.2	0.6	▲1.2	0.3	0.6	▲0.4	0.3
	7月	0.7	1.6	1.1	0.9	0.9	1.0	▲0.1	▲0.2	3.8	2.5	▲0.4
	8月	0.1	2.3	2.7	▲0.1	▲0.3	0.5	0.4	▲0.1	▲3.8	0.0	2.2
	9月	▲0.4	1.3	▲2.1	▲1.6	▲0.1	▲0.8	▲0.2	▲0.2	▲0.6	▲0.2	▲2.2
	10月	0.2	0.5	▲2.6	1.9	▲0.3	0.3	0.3	▲0.3	0.2	0.7	0.0
	11月	0.6	2.5	0.2	0.6	0.9	1.4	▲0.1	▲0.1	1.2	▲1.2	▲1.6
	12月	▲0.2	1.8	0.0	0.0	▲0.4	▲0.6	1.0	0.0	▲1.4	1.7	1.0
11	1月	▲0.1	1.1	4.3	▲1.0	0.4	0.2	▲1.9	0.0	1.0	▲0.8	▲1.0
	2月	0.8	2.0	▲1.7	▲0.5	1.1	1.8	2.3	0.1	3.7	1.3	▲0.3
	3月	▲5.9	▲3.1	▲3.5	▲9.4	▲7.2	▲8.9	▲0.5	▲1.8	▲4.1	▲12.9	▲17.0
	4月	2.7	▲2.3	▲2.7	9.9	3.7	2.7	▲2.6	0.0	3.6	6.1	8.0
	5月	0.9	▲0.2	0.2	▲0.6	0.9	2.8	0.5	1.7	▲2.6	4.0	6.2
	6月	1.9	0.9	0.1	1.5	2.1	3.1	0.9	▲0.8	3.0	0.5	4.7
	7月	▲0.2	▲0.2	▲0.9	▲0.7	▲1.0	0.2	1.6	▲0.1	▲2.4	1.9	1.1
	8月	0.0	0.5	▲1.0	0.1	0.8	▲1.3	0.3	0.1	▲0.4	0.2	1.4
	9月	▲0.7	▲0.4	1.1	▲2.6	▲0.6	▲2.2	▲1.0	▲0.5	3.1	0.8	▲2.6

(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

○9月の第3次産業活動指数は前月比▲0.7%

9月の第3次産業活動指数は前月比▲0.7%と、コンセンサス(同▲0.5%、レンジ:同▲0.9%~0.0%)をやや下回る結果となった。主要13業種のうちマイナスに寄与した業種は、卸売業、小売業(前月比寄与度▲0.54%ポイント)、情報通信業(同▲0.27%ポイント)、生活関連サービス業、娯楽業(同▲0.13%ポイント)、金融業、保険業(同▲0.10%ポイント)など7業種、プラスに寄与した業種は、学術研究、専門・技術サービス業(同+0.16%ポイント)、医療、福祉(同+0.07%ポイント)、電気・ガス・熱供給・水道業(同+0.04%ポイント)などの6業種であった。

生産活動の回復ペース鈍化などを背景に、9月の第3次産業活動指数は低下した。また、7-9月期は前期比+1.1%と上昇しているが、これは6月までの急回復によるゲタの要因が大きく、月次で見れば7-9月の第3次産業活動指数は低下が続いた点には注意を要する。

○家計部門、企業部門ともに低下

第3次産業活動指数のうち、それぞれ家計と企業の活動に関連が深い業種を取り出してみると、家計部門¹が

¹ 映像・音声・文字情報制作、旅客運送業、小売業、不動産取引業、住宅賃貸業、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉、学習

前月比▲0.4%、企業部門²が同▲1.6%となった。

家計部門は、天候不順による悪影響があったものと見られ、小売業（前月比▲1.4%）、娯楽業（前月比▲3.3%）などが低下した。小売業は、月後半の台風により生鮮食品の供給が不足、価格が高騰した影響を受けた飲食料品小売業（前月比▲1.6%）のマイナス寄与が特に大きい。織物・衣服・身の回り品小売業も、夏物衣料特需の剥落等を背景に前月比▲3.1%と低下した。また、観光需要の持ち直し等を背景に4月から回復が続いた旅客運送業も、前月比▲0.5%と回復が一服している。それに対して、不動産取引業は前月比+1.6%と3ヶ月連続の上昇となった。震災の影響で手控えられていたマンション販売が徐々に再開され始めたことや、消費者側の耐震性への意識の高まりなどが住宅販売の回復に寄与しているものと見られる。

企業部門は、卸売業が前月比▲3.0%と低下、中でも電気機械器具卸売業（前月比▲7.1%）のマイナス寄与が大きいものとなっている。経済産業省によれば、これは半導体等の電子部品の輸出入が鈍化したことが主因のようだ。また貨物運送業は前月比▲1.5%と3ヶ月連続の低下となった。生産や輸出の伸び悩みが、荷動きを鈍らせている可能性が高い。

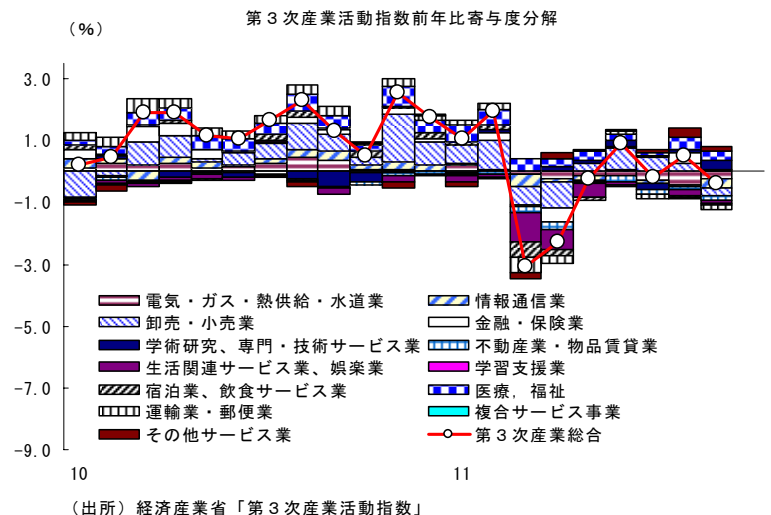
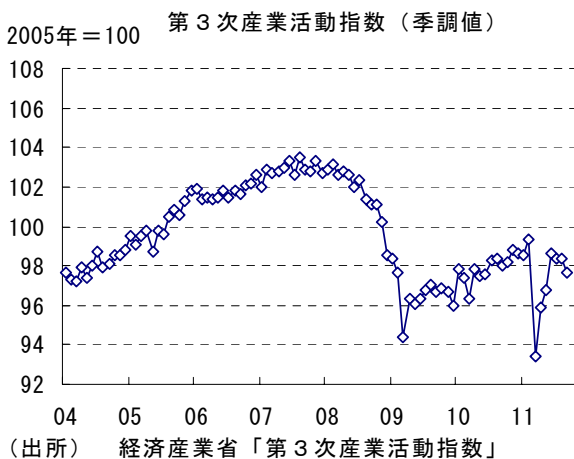
○今後の第3次産業活動指数は回復感に乏しい展開となる見込み

このように、家計、企業の両部門で弱い動きとなり、9月の第3次産業活動指数は低下した。

今後の第3次産業活動指数を展望すると、企業部門は、海外経済の減速や円高による生産や輸出の減退を背景に、回復ペースの更なる鈍化が見込まれる。また、タイの洪水による自動車等の生産への悪影響も懸念材料のひとつだ。

家計部門についても、10日に発表された消費動向調査において消費者マインドの持ち直しに歯止めがかかりつつあることが示唆されているほか、雇用環境の改善ペースも緩慢なものに留まる可能性が高く、低調な推移が続くものと見られる。

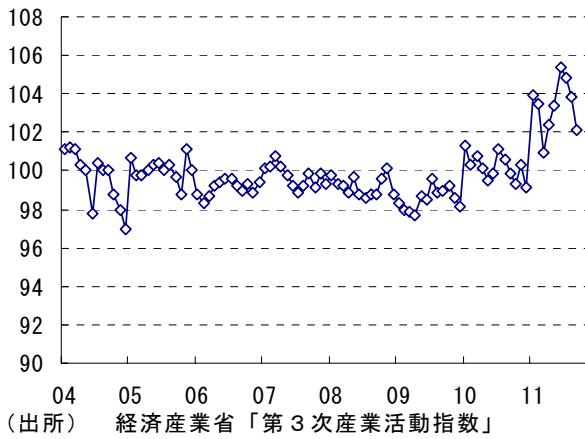
以上のように、企業部門、家計部門ともに高い伸びは見込みづらい状況にある。総じてみれば第3次産業活動指数は回復感に乏しい動きとなることが予想され、10-12月期は前期比マイナスも視野に入れる必要があるだろう。



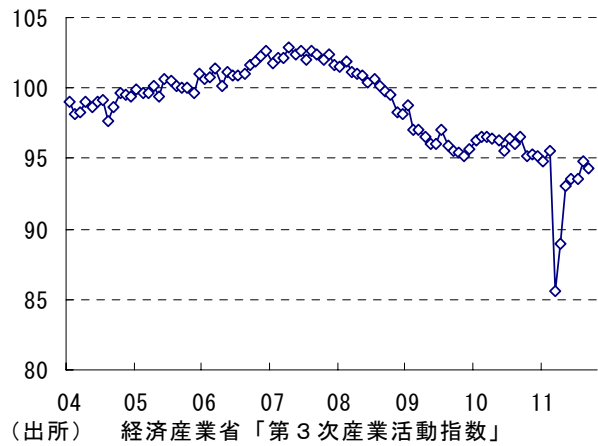
支援業、生活関連サービス・娯楽業

² 情報サービス業、貨物運送業、倉庫業、運輸に附帯するサービス業、卸売業、貸事務所業、物品賃貸業、自動車賃貸業、学術研究・専門・技術サービス業

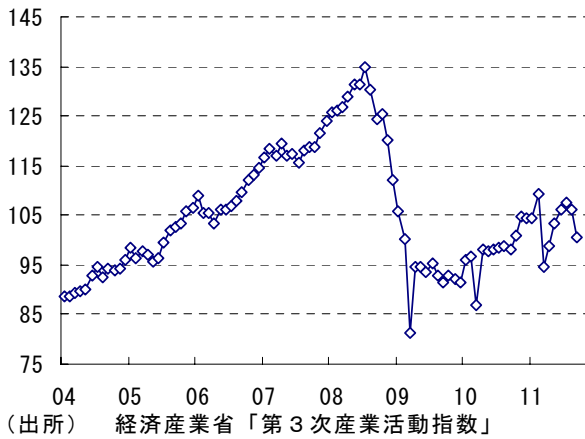
2005年=100 飲食料品小売業（季調値）



2005年=100 旅客運送業（季調値）



2005年=100 機械器具卸売業（季調値）



2005年=100 不動産取引業（季調値）

